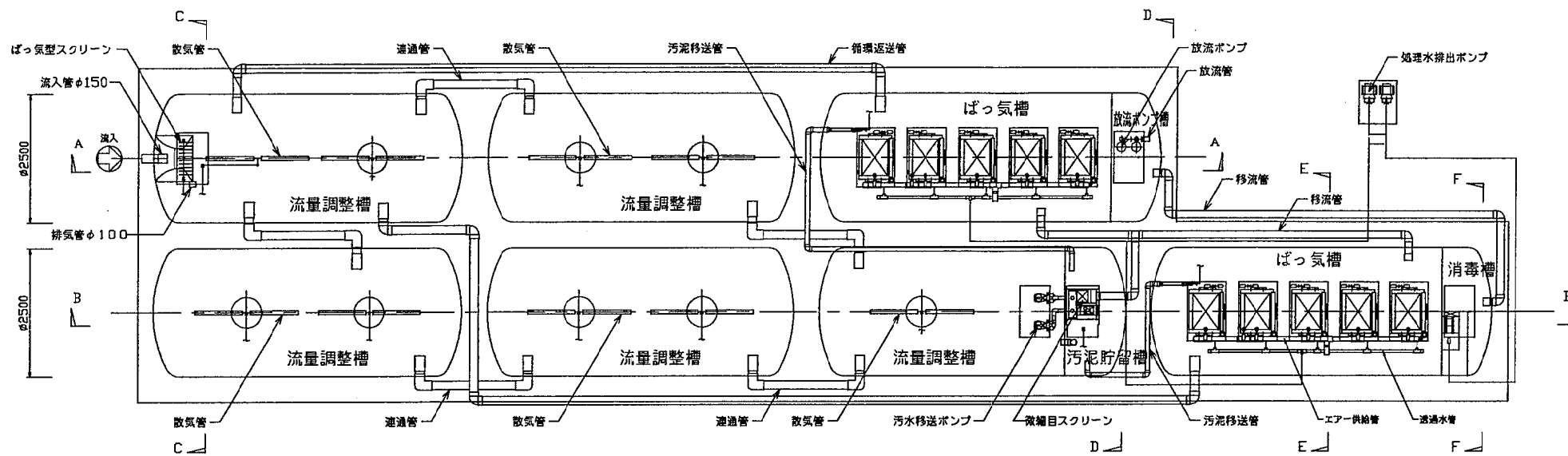
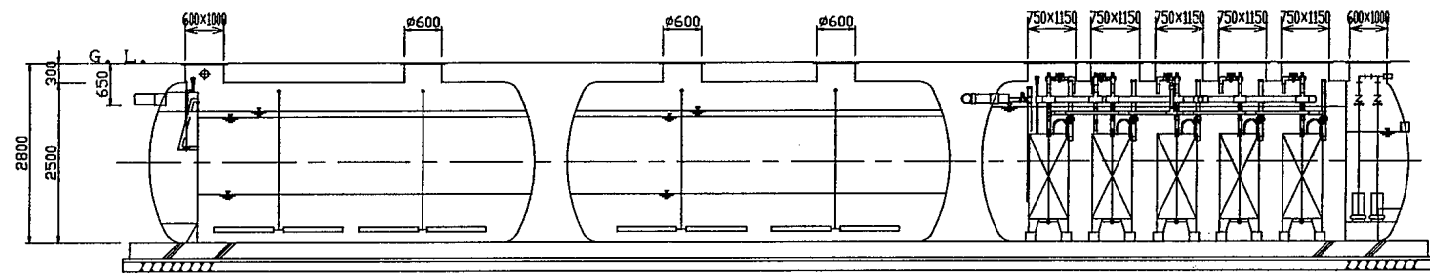


型式適合認定書別添仕様書及び図面 建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定による膜分離活性汚泥方式【大臣認定番号(認定年月日): DW3N-8144(平成14年3月14日)】

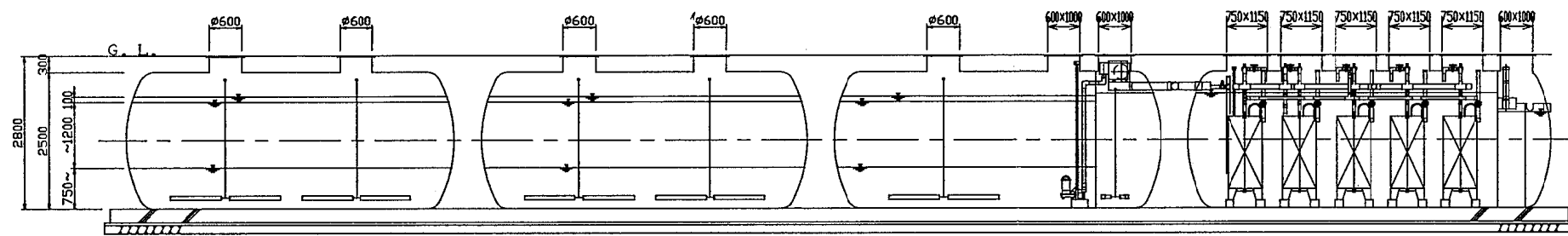
会社名	株式会社クボタ			
住所	〒556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号 ☎06-6648-2111			
型式	クボタ浄化槽 KM-SG-B-7B			
型式適合認定番号	型01Cae0a1121433	認定年月日	平成14年5月24日	
処理対象人員	200~5000人	日平均汚水量	90.0~420.0m <sup>3</sup> /日	
放流水質	法令上の性能 : BOD 10mg/L以下 COD 10mg/L以下			
	移行認定《認定番号: DW3N-8144(平成14年3月14日)》による性能 BOD 10mg/L以下 COD 10mg/L以下			
仕様表				
有効容量 (脱窒部)	ばっ気型スクリーン		0.75~7.00	
量 (m <sup>3</sup> )	流量調整槽		22.50~161.00	
	ばっ気槽		11.20~141.00	
消 毒 槽	汚泥貯留槽		30.00~91.10	
	消 毒 槽		4.50~23.50	
寸 法 (mm)	ばっ気型スクリーン		3.10~5.00	
	幅	長さ	深さ	
	900~2500	750~3000	1300~1750	
	流量調整槽 (脱窒部)	幅	長さ	深さ
	2500	12000~53500	700~1300	
	ばっ気槽	幅	長さ	深さ
2500	7000~21000	2100		
汚泥貯留槽	幅	長さ	深さ	
2500	1200~5500	2100		
消 毒 槽	幅	長さ	深さ	
2500	1000~1500	1750~2000		
仕 切 板	材質	FRP	板厚 8	
仕 切 板	材質	FRP	板厚 6~9	
材 質	ばっ気型スクリーン目幅 (mm)	35 (固定式)		
	スクリーンばっ気空気量 (m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・時)	1.25以上		
料	原水ポンプ槽有効容量 (m <sup>3</sup> )	時間最大汚水量の15分間以上		
	流調排出時間 (時間)	6~20		
槽	量整ばっ気空気量 (m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・時)	0.75以上(間欠)		
	槽流量調整比 (-)	1.0~1.5		
材 質	(脱窒部) 滞留時間 (時間)	3時間以上		
	ば T-N容積負荷 (kg/m <sup>3</sup> ・日)	0.4以下		
質	っ BOD容積負荷 (kg/m <sup>3</sup> ・日)	1.5以下		
	気 MLSS (mg/L)	20,000以下		
及	槽ばっ気空気量 (m <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> 汚水)	45.0以上		
	消毒槽滞留時間 (分)	日平均汚水量の15分間以上		
び	汚貯槽汚泥移送方法	アリフポンプ又は汚泥移送ポンプ		
	泥留貯留日数 (分)	7日以上		
機	膜装膜面積/枚 (m <sup>2</sup> )	0.8		
	分置膜枚数/基 (枚/基)	25又は50(最大)		
械	離膜総枚数 (枚)	225~900		
	透過流束 (m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日)	0.4~0.75		
設	微細目	目幅 1~2mm、機幅 185~450mm、材質 SUS304		
	スクリーン	自動バースクリーン、14~99m <sup>3</sup> /時、1~4台		
備	送 型式	ロータリ式又はホップ式又はスクロー式		
	風 吐出風量 (L/分)	4500~28000		
の	機 台数 (台)	スクリーン用 1、流調用 1 ばっ気用 2~6		
	仕	圧 力 計	負圧計 1~2個、処理水排出ポンプ吸引側	
流 量 積 算 計		流量積算計 1~2個、処理水排出ポンプ吐出側		
様	流入管・移流管・放流管	材質	PVC	内径(mm) 50~150
	汚泥移送管・循環返送管	材質	PVC	内径(mm) 50~150
送	送 気 管	材質	PVC	内径(mm) 20~150
	マ ン ホ ール	材質	铸铁/FRP/ レジンコンクリート	内径(mm) 600
チェッカープレート	材質	編鋼板/铸铁/FRP	内径(mm)	600×1000
			600×1200	
			750×1150	
			1200×1200	
注) 寸法の単位はmm、容量の範囲はm <sup>3</sup> とする。				
注) 容量、寸法については範囲で示す。				
注) 「深さ」は有効水深とする。				
特 記 事 項	・振動、騒音、防臭対策は必要に応じて行う。			
	・流入、設置条件によりオプション槽を組み合わせる。			



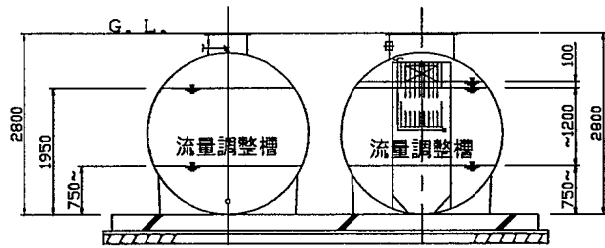
平面図



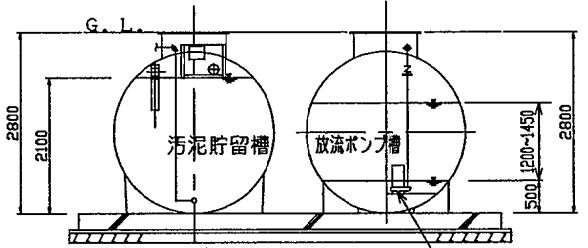
A-A断面図



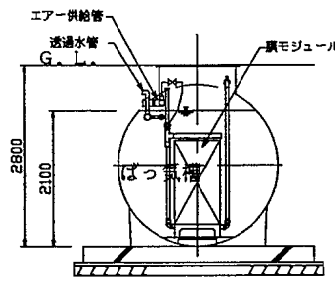
B-B断面図



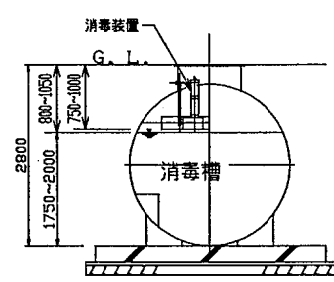
C-C断面図



D-D断面図



E-E断面図



F-F断面図